

## 令和4年度第1回龍ヶ崎市児童生徒に係る重大事態調査委員会会議録

					記録者	副主査 松田 麻紀子
決 裁	教育長	教育部長	課 長	課長補佐	主査・係長	グループ員
件 名	令和4年度第1回龍ヶ崎市児童生徒に係る重大事態調査委員会					
日 時	令和5年3月23日（木） 午前10時00分から午前11時20分まで					
場 所	龍ヶ崎市役所5階第1委員会室					
出席者	<p><b>委員（7名）</b> 鈴木委員長，半田副委員長，池田委員，佐藤委員，船澤委員，倉部委員，寺崎委員</p> <p><b>事務局（7名）</b> 大古教育長，中村教育部長，名島教育総務課長，本橋指導課長，稲垣指導課長補佐，関ヶ原教育総務課長補佐，記録者</p>					
欠席者	なし					
傍聴者	なし					
内 容	<p>令和4年度第1回龍ヶ崎市児童生徒に係る重大事態調査委員会を下記のとおり開催した。</p> <p style="text-align: center;">＜次 第＞</p> <p>1 開会</p> <p>2 教育長挨拶</p> <p>3 委員長・副委員長の選出</p> <p>4 議事            (1) 小中学校におけるいじめ認知の現状について            (2) 教育センターにおける取組状況について            (3) 小中学校における未然防止策や早期発見・対応の取組状況について</p> <p>5 閉会</p>					

### 発言の内容（文中敬称略）

関ヶ原補佐	<p>皆様、本日は御多忙の中、お集まりいただきありがとうございます。ただいまから令和4年度第1回龍ヶ崎市児童生徒に係る重大事態調査委員会を開会いたします。</p> <p>本日の会議ですが、委員総数7名のところ、7名の委員の皆様全員の方に御出席いただいていることから、会議が成立していることを御報告いたします。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、大古教育長より、御挨拶をさせていただきます。</p>
大古教育長	<p>改めまして、おはようございます。昨年4月から、前任の平塚教育長のあとを受け、教育長を務めさせていただいております大古でございます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、本日の会議に御出席をいただき誠にありがとうございます。当調査委員会は、いじめなどにより児童生徒に生じた重大事態に関しまして、調査・審議していただく機関でございますが、これまで委員の皆様には大変な御尽力をいただいておりますことを、前任の平塚教育長から伺っております。</p> <p>本年2月の委員の任期更新に際しまして、7名の委員の皆様全員が引き続き委員をお引き受けくださいましたことに改めて感謝を申し上げます。</p> <p>現在、当調査委員会において調査すべき事案は発生しておりませんので、本日は、本市におけるいじめの現状や未然防止に向けた取組について御報告させていただきます。委員の皆様のお意見をいただきながら、今後の取組に生かしてまいりたいと考えております。</p> <p>以上、簡単ではございますが、開会に当たっての挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。</p>
関ヶ原補佐	<p>それでは、会議を進めてまいりたいと思います。</p> <p>先日、会議資料と一緒に当調査委員会の名簿を配付させていただきました。委員の皆様におかれましては、委員の再任について御承諾いただき誠にありがとうございます。引き続き2年間の任期となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。大変恐縮ですが、委嘱状を机の上に置かせていただきましたので、御確認いただければと思います。</p> <p>また、事務局の職員の方に異動がありましたので、名簿の方で御確認いただければと思います。</p> <p>今日の会議はマイクのシステムを使いますので、発言する時はスイッチを入れていただいて、発言が終わりましたらスイッチを消していただくようになります。</p> <p>さて、本日の会議次第の3は、「委員長・副委員長の選出」となっております。この度、委員の皆様を改めて委嘱させていただいたことに伴い、委員長1人、副委員長1人を選出する必要があります。選出に当たりましては、条例の規定により、委員の互選によることとなっております。この委員長・副委員</p>

	<p>の選出に関しまして、どなたか御意見ございましたらお願いします。</p>
寺崎委員	<p>事務局でどなたかありませんか。</p>
名島課長	<p>それでは、事務局の方から考えを提案させていただきます。当調査委員会の委員につきましては、前任期の委員皆様に再任いただいております。前任期の時には、委員長に鈴木委員、副委員長に半田委員にお願いしていたところでございます。引き続き、鈴木委員に委員長、半田委員に副委員長をお願いしたいと考えております。いかがでしょうか。</p>
関ヶ原補佐	<p>それでは、鈴木委員を委員長に、半田委員を副委員長に選出いたします。それでは、鈴木委員長、お席の移動をお願いいたします。</p> <p>では、鈴木委員長から一言、御挨拶をお願いいたします。</p>
鈴木委員長	<p>改めまして皆さん、おはようございます。この度、2期目となります委員長を仰せつかりました鈴木でございます。前期同様、よろしくをお願いいたします。とは言え、前期も事務局の皆さん、学校現場の先生方、教育センターのみなさんのおかげで我々は大した大きな仕事もなく無事にここまで来れたのは、皆さんのおかげだと感謝申し上げます。引き続き我々の出番がないことを心からお祈りして委員長を務めさせていただきたいと思っております。</p> <p>さて昨日は、WBCの優勝で子供たちが目を輝かせながら見ている様子を見ると、まだまだ日本も捨てたものじゃないなと感動いたしました。その一方で、かなりの出生率の低下ということで、龍ヶ崎市においても子供の数がかなり減少している。だからと言って、いじめの件数が減るわけではなく、減少しているからこそ大人たちが子供たちに目を向けることによって、今まであまり気にしていなかったことが社会の問題になってきていて、その結果、色々なトラブルに発展するという現象も起きています。少子化問題はここだけで解決できる話ではありませんが社会情勢に目を向けながら、新しいことに目を向けられる委員会としたいと思います。引き続き、どうぞよろしくをお願いいたします。以上をもって、挨拶とかえさせていただきます。</p>
関ヶ原補佐	<p>ありがとうございました。それでは、これより会議次第の4「議事」の方に移りたいと思っております。ここからの議事の進行につきましては、鈴木委員長にお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。</p>
鈴木委員長	<p>それでは改めまして、会議次第に従い、進めてまいりたいと思っております。本日の議事は3件を予定しておりますが、小中学校におけるいじめの現状やその防止のための取組などについて、事務局から説明の後、委員の皆様から御意見や御質問を頂くような形で進めてまいりたいと思っております。</p> <p>始めに、議事の(1)「小中学校におけるいじめの認知の現状について」、事</p>

	事務局から説明をお願いします。
稲垣補佐	(資料1に沿って説明)
鈴木委員長	ただいま、事務局から説明がありましたが、この件について、御意見や御質問等がございましたら、お願いいたします。
鈴木委員長	なければ私からよろしいでしょうか。最後の方に、いじめの定義の認識の格差というのは市内でもすでに認識の違いがあるのでしょうか。それとも全国的に違いがあるのでしょうか。
稲垣補佐	はい。お答えします。全国的な問題でもあるのですが、市内においてでも積極的に認知をしている学校と、やや消極的な姿勢の見られる学校が正直あります。
鈴木委員長	ありがとうございます。その他いかがでしょうか。
半田副委員長	小学校の件数ですけどアとキが倍以上増えているようなのですが、何かこれについて分析というか、背景の考察みたいなものを調べたりしているのか教えていただければと思います。
鈴木委員長	事務局お願いいたします。
稲垣補佐	はい。お答えします。これは分析によるものではないのですが、こちらの認識によるものになるのですが、コロナ禍ということもあり児童生徒の適切な距離での関わりが少なくなってきたこともあり、そういったところで児童生徒の上手なコミュニケーションが取れなくなっているということが1つあると思うのですが、もう1つはやはり積極的な認知っていうものを心がけて、いじめと捉えて対応してくれている学校が増えているということも事実であり、冷やかしゃからかい、今まで見過ごしていた軽く扱っていたことを積極的にとらえているということもあるかと思います。
鈴木委員長	ありがとうございます。他にないようでしたら、議事の(2)「教育センターにおける取組状況について」に移りたいと思います。始めに事務局から説明をお願いします。
稲垣補佐	(資料2に沿って説明)
鈴木委員長	ただいま、事務局から説明がありましたが、この件について、御意見や御質問等がございましたらお願いいたします。はい。では寺崎委員お願いいたします。

	す。
寺崎委員	質問なんですけれども先程、シャボテンログに毎日心と体の状態を入力してありましたが、具体的にどのようなことなんでしょうか。
鈴木委員長	事務局お願いいたします。
稲垣補佐	お答えいたします。心と体の状態ということで、特に文言があるということではなく良い状態を4、良くない状態を1として、その間を2と3としているということです。心の状態と体の状態を数値で表して、それを記録していくということになります。普段ずっと心の状態が4だったお子さんが、急に1となった場合に担任がすぐに気付けるといったような、ちょっとした変化も気付けることがこのアプリの特徴となっています。以上です。
鈴木委員長	その他ありませんでしょうか。船澤委員お願いいたします。
船澤委員	相談事業の（1）の教育相談員による相談で教師とあるのですが、これは先生が教育相談員に相談にいかれるということでしょうか。想定としてはどんなことを相談すると想定されるのか教えていただきたいと思います。
鈴木委員長	事務局お願いいたします。
稲垣補佐	はい。お答えいたします。1の（1）教育相談員による相談の学業・進路のとなりにある教師のことでよろしいでしょうか。こちらに関しては相談の内容になっていますので、学業・進路に関すること、教師に関すること、家庭に関することといった意味合いです。
船澤委員	先生が相談にいかれるということなんですよね。先生のことを相談するのではなく、先生が相談するということですよ。
稲垣補佐	いえ、教員が教育相談に来るということではなくて、相談に来た方が例えば担任の先生だったり、顧問の先生だったり相談にきたということです。
鈴木委員長	半田委員お願いいたします。
半田副委員長	STANDBY 事業はすごく良いと思います。その場で登録させたということは、とても素晴らしいと思いました。お家で登録してねとプリントを渡してもなかなか登録はしないと思うのでね。個人的に、ずっと思っていることがあるんですけど子供に携帯を持たせるなら、ドコモショップとかで、子供ホットラインとか目の前で登録させるとか各携帯会社がやってくれたらいいのにと勝手に

	<p>に思っているんですが、そういうわけにもいかないんで、これを学校でその場で登録させたというのはすごく意味があると思います。もし可能なら、今日はお試しで相談してねとか、お試し相談とか本当の相談ではなくお試しをやってみるとかするといざという時に使いやすくなるので、本当にこれはいいなと思いい読ませていただきました。以上です。</p>
鈴木委員長	<p>ありがとうございます。せっかくですので STANDBY のさらなる情報があればよろしくお願いいいたします。</p>
稲垣補佐	<p>はい。お答えいたします。こちら、学校の方で即登録というのは1人1台端末が導入されていますのでそこで登録、テストメールで送っていただくということもしました。本当にテストと送ってくるだけとか、何も記入しないでとかがほとんどですが、中には、これからよろしくお願いいいたしますとか有意義性を感じてそういった内容のものを送ってくれた人もいました。以上です。</p>
鈴木委員長	<p>ありがとうございます。その他いかがでしょうか。他にないようでしたら、議事の(3)「小中学校における未然防止策や早期発見・対応の取組状況について」に移りたいと思います。始めに事務局から説明をお願いいいたします。</p>
稲垣補佐	<p>(資料3に沿って説明)</p>
鈴木委員長	<p>ただいま、事務局から説明がありました。この件について御意見や御質問がございましたらお願いいいたします。半田委員お願いいいたします。</p>
半田副委員長	<p>早期発見ということで、さっきのシャボテンログとか STANDBY とかアンケートとか色々な手段を使うというのは大事だと思います。生活アンケートはセンターで実施していることもあると思うんですけど、紙で書くというのも大事ですが集計も大変だと思うのと、その場で書くのは抵抗があるという子もいるので、例えば Google フォームとか家でやってねみたいなのも組み合わせさせてやってみると拾えない声が拾える可能性もあるので、多様な手段を使うのが大事だなと思います。以上です。</p>
鈴木委員長	<p>ありがとうございます。この件、事務局の方からお願いいいたします。</p>
稲垣補佐	<p>はい。ご意見ありがとうございます。実は紙の良さというのもございます。教室内で時間を取るということで、担任が子供たちが書いてる様子を見る、何か書きたいけどどうしようかなとソワソワしているとか、書いたけど消して書き直すとか見てとれたりします。ですので紙ベースのものと Google フォームなどを組み合わせしていくのは良いと思います。ご意見ありがとうございました。</p>

鈴木委員長	<p>ありがとうございました。その他ございますでしょうか。船澤委員お願いいたします。</p>
船澤委員	<p>この取り組みについては特にはないですけど、私はつばみ園で仕事をしています、つばみ園は昨年、新規に八原で建物を新しくして事業を開始して相談件数も増えているのですが、その中でも小学生の相談が急増しています。学校に訪問して児童の様子とか見させていただいています。その中で感じることは、不登校の児童が激増しているのではないかとということ。昨年、文部科学省が出していたデータは小中学生で26万件。どんどん増えている傾向がある。龍ヶ崎市でも印象としてはすごく増えている。それが何故なのか。先程の資料にも不登校が増えているとありました。現場を見に行くと先生たちものすごくストレスを感じているし、子供たちもストレスを感じているという印象を持ちます。不登校の背景にある問題と、いじめの問題と直接関係があるかは分かりませんが、同時にいじめが起こらないような教育環境、見に行くと楽しいなって感じが全然しないんですね。先生とのやり取りを楽しんでるというのがなく、過緊張状態に見える。相談に関しては私たちも全力で取り組んでいきます。</p>
鈴木委員長	<p>ありがとうございます。事務局お願いいたします。</p>
稲垣補佐	<p>ご意見ありがとうございます。私どもも、学校の授業を見に行く機会が多いんですけども、教員と子供たちの良好な関係というのはやはり授業を見ていて伝わってくるものでもあります。特別な配慮を要するお子さんへの担任の関わり方とかを見ても教室が親和的で温かい雰囲気や学級経営されていたり、担任の先生の力量の差を感じるところもあります。今後、どのように温かい人間関係のなかで授業を行っていくかというのも教育委員会の課題であると思っています。</p>
鈴木委員長	<p>大古教育長お願いいたします。</p>
大古教育長	<p>私も学校現場に行く機会はとても多いです。そこで感じるのはマスク生活になってほぼ3年。マスクをしていると先生が笑顔でいても目元だけでは子供たちにはダイレクトに伝わらないんです。先生の口角が上がると、子供たちの口角も上がるじゃないですか。そういうやり取りが読み取れなくなってきているんですね。逆に悔しがっているのもマスクで表情が読み取れない。先生方もそれを掴み切れないんじゃないかな。文部科学省の通知によって4月以降は子供たちはマスクを自由に取り外しできるということでね、少し緩和されるといいなと思うんですけど学校によって差と言えば差なんですけれども、最近でいえば卒業式なんですけれども、外していいよと言われて全員外している学校もあれば、外していいよと言われても外していない学校もあるということのなかから、まだ差があるんじゃないのかなと思います。マスクを付けているうえで、</p>

	<p>表情が読み取れないというのは非常にネックになっていると思います。はい以上です。</p>
鈴木委員長	<p>はい。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。</p>
稲垣補佐	<p>私は、幼児教育施設に伺う機会も多いのですが、幼児教育施設での園長先生に言われたことがあって、マスクを付けるようになって3年になりますが、子供たちの言語の発達というか遅れが気になるようになったと聞いています。あとは咀嚼とか、ものを食べるということが出来ないお子さんが増えたと聞いています。そういったお子さんたちが今度1年生に上がるわけですが、そういったこともマスクの影響なのかなと考えさせられました。</p>
鈴木委員長	<p>ありがとうございます。はい、次に佐藤委員お願いします。</p>
佐藤委員	<p>こちらのいじめの未然防止を目指した組織的な対応・取組について読んでみて感じたことをお話させていただきます。教育相談の体制とか整備ということで学校にはスクールカウンセラーとか、市の方ではたつのこさわやか相談員とか学校に行ってると思いますけど、そういった方たちが学校のなかの、例えば生徒指導部会とか教育部会とかいうところに本当にきちんと出席されているのかというところが気になりました。どうしてもスクールカウンセラーとか、さわやか相談員は毎日学校に出向くのではなくて、何曜日とか決まった曜日だけになると思うんですけども、学校の方で設定している生徒指導部会とか教育部会の曜日と一致していればいいんですけど、一致していなければ参加できていないと思います。私はずっとスクールカウンセラーをやっていますけれども、やはり生徒指導部会あるいは教育部会とかに参加させていただくと学校でどのようなことが起きているのか分かりますし、未然防止というところに手が届くんですね。その学校に参加出来るのは、実は市の方の教育委員会が積極的に配置が決まった時点で、何曜日を勤務日にするかをスクールカウンセラーに聞いてくれて、学校の方の教育相談部会をその曜日にしてもらうなど学校に積極的に働きかけるといったような繋ぎをしていただいて、やっと実現したんですね。私たちは参加させてくださいと言いながら学校に出向くのですが、月曜日だったんですねと言われて、私の勤務日を月曜日に変更してもらえるかという、そうではない。やはり、そういった意味でも教育委員会が中に入って、そういった整備をしていただくと体制が整うんですね。やはり実感があります。勤務の中であとから担当の先生から聞くのと、実際に部会に入って色々な先生方から、まだまだ重要にはなっていないけど学年でこういうことがありましたとか、お子さんたちのいじめにまではいかないとか、先生たちとの関係性が上手くいくとか、いいように働くと思うので7番のところ、それぞれの小学校、それぞれの中学校でどれぐらい部会に相談員、カウンセラーが参加できているのか、参加できているのはどの学校なのか、あるいは参加できていな</p>



	<p>いのはどの学校なのか、もし調査できるのであれば多分差が出てくると思います。もし、よろしければ私のこの意見で次年度、4月からとか多分カウンセラーは水曜日とか木曜日に行くので相談部会を水曜日とか木曜日あたりで合わせてみたらと学校の方に働きかけてくれるとすごく良いのではと思いました。実際に調査とか把握とかは教育委員会ではされていないんですか。スクールカウンセラーの勤務日に相談部会が行われているとか把握はしていないんですかね。</p>
鈴木委員長	<p>はい。事務局お願いします。</p>
稲垣補佐	<p>はい。お答えいたします。申し訳ありませんが調査という形で生徒指導部会や教育相談部会にスクールカウンセラーや、さわやか相談員の勤務日を質問として聞いていることはないんですが、さわやか相談員の先生方がどんな仕事をされているのか、どんなことを抱えているのかというのは年度に2回ほど、さわやか相談員の先生方を訪問させていただいて色々とお話を伺っているところです。その中で全部同じ質問をしたわけではありませんが、教育相談部会に参加させていただいたという話も伺ったことはあります。1つの好事例ということで、さわやか相談員が集まる研修会があるので紹介してみようと思います。学校にも勤務日の調整等できるかも含めてお伝えしていきたいと思います。</p>
鈴木委員長	<p>はい。他にいかがでしょうか。倉部委員お願いいたします。</p>
倉部委員	<p>いじめの法的定義の理解なんですけれども、大体の学校は4月の年度初めに確認していますと書かれていると思うんです。でも4月の年度初めは引継ぎ事項だったり、会議が非常に多いと思うんです。いくつも会議があると、そのなかで埋没してしまうのではないかと思います。例えば大宮小学校は11月とか2月の職員会議で資料提示があるので、年度間で少なくとも1回は振り返りをできればいいのかなと思いました。例えば夏休み明けとかザワザワする時期の前にもう1回とか、先生たちの負担が増えてしまうので、4月のような同程度の、がっつりでなくても確認だけでもできればいいのかなと思いました。</p>
鈴木委員長	<p>ありがとうございます。これについては事務局いかがでしょうか。</p>
稲垣補佐	<p>はい。年度最初の共通理解はもちろん大事だと思いますが、やはり定期的に、学期の初めであるとか、夏休み明け前とかに学校の取り組みやすい形で、なおかつ先生方が認識できる形で伝えられるように働きかけていきたいと思います。</p>
鈴木委員長	<p>ありがとうございます。半田委員お願いいたします。</p>

<p>半田副委員長</p>	<p>度々すみません。この内容とは直接は関わらないのですが、個人的な印象で僕はTwitterとかよく見るんですけども、他にも出版関係の動向とか見ていると、いじめの加害者への指導とかに社会の注目がかなり移ってきているなどという印象があります。本も割と加害者支援とか指導について書かれている本が増えてきたりしているので過激な意見もあつたりしますよね。そういったあたりが今後、重大事態になるとかならないとかあつた時に加害者への指導がきちんとされていないじゃないかみたいなことが揉める要因になってくるのではという雰囲気を感じますので、だから何というわけではないですけど、それなりに加害者への働きかけといいますか、エビデンスまではないですけども、こういう方向性がいいのではないかと加害者を別室登校にするべきだとか社会的には言われるようになってきて色々ハードルもありますし難しいところではありますので、一律そうしなさいというわけでもないですが、そういったあたりが社会が変わってきている分があるので加害者への指導・支援を丁寧にしていかなければという印象を個人的にもちましたのでお伝えしてみました。以上です。</p>
<p>鈴木委員長</p>	<p>半田委員ありがとうございます。他にいかがでしょうか。結構皆さんから重要なお意見を頂戴しておりますがいかがでしょうか。他に無いようでしたら、本日の議事は以上になりますが、これまで御協議いただいたこと以外に、委員の皆様から何か御意見、御質問等はございませんか。よろしくお願ひいたします。</p> <p>はい。池田委員お願ひいたします。</p>
<p>池田委員</p>	<p>医療関係で出てきているんですけども、私も学校医を辞めて2年位になるんですけどね。龍ヶ崎中学校に統合されて、城南中学校時代には長くやっていたんですが医師会としてはマスクの問題とか色々議論しているところであります。私も医師会長を辞めて3年位にはなりますが、日本医師会としては当分マスクを付けてほしいと通達があったわけですが、現に学校では授業中はマスクを付けないで受けているんでしょ。付けてやってるのかな。マスクを付けていると表情が読み取れないというのは私もそう思います。そのあたり気になる場所であります。私個人的には各小学校の児童数ですね。バラつきがあると思うんですけども大宮小学校は児童数どれぐらいになるのかな。75人位かな。そうすると私は長戸小学校出身なんですけれども長戸小学校はなくなってしまいましたけれど大宮小学校は存続ということは考えているんですか。それぞれの学校に校医の先生がいるんですけども城南中学校で私と朝野先生が校医をしていたんですけども、龍ヶ崎中学校では朝野先生が体調を崩して今度代わりの先生になりましたよね。それは教育長も分かっていますよね。医師会を代表してお聞きしたかったものですから。それと、いじめについて半田先生から加害者の問題についての話がありましたが、確かに大事な問題だと思う</p>

<p>鈴木委員長</p>	<p>んですね。被害者だけではなくて加害者、これは小学校・中学校だけではなくて社会全体的において、加害者の扱い方ですね。先生たちが色々勉強していると聞いております。こういったこと言って申し訳ないんですけども第1回ということで、大古先生と初めて会うのでこちらから色々発信しようと思うところです。生徒も大事ですけども、教職員のメンタルですね。これも最近すごく囁かれていますのでね。私も県の委嘱でずっとやってきているわけですけども結構いるんですよ。いじめの問題ではないですけども生徒だけではなく、教職員の健康状態も大事にしていきたいと思います。以上です。</p> <p>はい。貴重な御意見ありがとうございます。その他はいかがでしょうか。では船澤委員お願いいたします。</p>
<p>船澤委員</p>	<p>先程、不登校のお子さんの相談で学校にお邪魔することがあるとお話しました。大宮小学校も出ていたんですけども、1つ疑問に思ったのですが先生の充足ですね。全国的に厳しいと思うのですが親御さんからの話だけなので、どう受け止めていいのかわかりませんが例えば、支援学級担当の先生が再雇用の先生ということもあるようですね。再雇用とか呼称がどうゆう呼称なのかわかりませんが非常勤の先生だったり、必ずしも質が悪いとかではないのですが、学校のなかで先生たちのチームの成り立ちを考えたら色々課題が出てくるのかなという印象を持っています。そういう意味では充足数がどうなっているのかちょっと教えてもらえたらと思うのと、大宮小学校も拝見させていただいたんですけども少人数なんですよ。1クラスに10人位しかお子さんがいない。その中でも行動上の問題のある子が4人も5人もいたりして授業が成立していないこともあるんですね。教務主任の先生や教頭先生、校長先生が交代で入って、席を立つ子を捕まえて席に戻すという繰り返しをしているんですね。こうなってくると校長先生も全体を見ながら本来の役割を果たすということがなかなか難しくなってしまうのではないかなと思います。大変失礼な言い方にはなりますが、森全体を見なければいけない立場のところ、木だけ見ているようなね。すごく課題が多いと思います。指導方法も国語の授業を拝見した際は、昔から行われているような享受方法だと思いました。そんな中で子供たちがちょろちょろ動き出してしまったり、支援学級のお子さんが走り抜けるということもありました。もう少し指導方法も含めて、少規模で子供たちがグループでディスカッションしながら学べるような方法とか、今まで通り子供たちに一斉に教えるのでは難しいところであり、少人数の良さをもう少し生かせるのではと感じております。そういったことも含めて先生たちも大変なんだなと、校長先生も個々の子供たちの指導方法に頭を悩まされている。学校だけでなく龍ヶ崎市の先生方全体で、どういった指導方法が効果的なのか研究会とか勉強会を行われているとは思いますが、今後もやっていくことが必要だなと思います。以上感想となります。</p>

鈴木委員長	<p>はい。ありがとうございます。その他はいかがでしょうか。委員の方々から貴重な御意見をいただきました。それでは本日の議事は以上となります。委員の皆様には、円滑な会議の運営に御協力をいただき、ありがとうございました。これを持ちまして、議長の任を解かせていただきます。</p>		
関ヶ原補佐	<p>鈴木委員長、ありがとうございました。委員の皆様におかれましては貴重な御意見ありがとうございました。今後の取り組みに生かしてまいりたいと思います。</p> <p>また、今後とも当委員会の運営に関しまして御協力を賜りますようお願い申し上げます。それでは、以上をもちまして、令和4年度第1回龍ヶ崎市児童生徒に係る重大事態調査委員会を終了させていただきます。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>		
情報公開	公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	(龍ヶ崎市情報公開条例第9条該当)
		公開が可能となる時期 (可能な範囲で記入)	年 月 日